

日野川の源流と流域を守る会

会 報

ひのがわ

— 第16号 —

＝ 目 次 ＝

- つごうだに 都合谷たたらと上菅五滝を訪ねる旅
- かみすげごたき 紅葉の大宮路を訪ねる旅
- 元気な森を復活させたい
- 日野川流域憲章制定記念事業
- 森と水に親しむ活動支援事業
- 森と水の学校



ひのりん

木谷沢溪流 (江府町御机)

つごうだに
都合谷たたらと H21. 10. 17
 かみすげごたき
上菅五滝を訪ねる旅

場所：日野町上菅 食文化伝承館(旧菅福小学校周辺)



雨の心配をよそに秋晴れとなったこの日、地元自治グループ「菅福元気邑」と「里山元気塾」の皆さんのご協力をいただき、日野郡が誇る巨大たたら跡の学習会を行いました。

つごうだに
都合谷たたらについて学ぶ

遺跡の規模としては日本一と言われる日野町上菅の「都合谷たたら」跡を、小谷博徳さん(里山元気塾代表)の説明を受けながら見学しました。



今も残るたたら製鉄の名残
(通称:金クソ)



たたら跡で参加者に説明する小谷代表(右端)

小さな滝を眺めながらの散策

たたら跡までは、「上菅五滝」と呼ばれるかわいらしい滝を眺めつつ、ガイドの皆さんの説明を受けながら、約3km程度の道のりを散策しました。



上菅五滝の一つ「童洞ヶ滝」



作業体験活動

元気邑の皆さんに指導してもらい、そば打ちを始め、とうふやこんにゃくづくりを楽しみ、昼食としていただきました。

つごうだに かみすげごたき
「都合谷たたらと上菅五滝を訪ねる旅」
に参加した



米子市 持田 薫さん

10月17日の会に、初めて参加させていただきありがとうございました。

初めての「そば打ち」体験も自分自身で難しいものと思い込み、今まで手を出せなかったのに意外と初めてにしては打て、そば切りも褒められ2枚半も切らせていただき楽しかったし、蔵美術館の見学、素晴らしい展示品に見入りました。

上菅五滝の散策、講師の藤原さんの野草、植物の詳しいこと、分かり易い説明に感心し、私の本日1番お目当て「都合谷たたら跡」のスケールの大きさ、開発もされずによくも現在まで、当時の姿を残していること、また、何より地元の人々のやさしさ、親切さ、丁寧な対応話しぶりに、とてもゆったりとした一日を過ごさせていただき、感謝しております。本当にありがとうございました。

松江市 知野見 睦典さん

心が躍った。やった～、都合谷に入れる。滝が五つもある。私は清流愛好者で滝マニアであるから、この行事のタイトルを見て逃せなかった。

そして当日。架橋され藪が除かれた道が有難い。河中歩きだと3倍の時間と体力がいる。花崗岩地域の川はやはり清流だ。ふと、案内の先生が流れから石を。私のような素人にはただの石くれだが、これがタタラ製鉄の残滓が流下したものだ。さすがだ。

植物観察をしつつ進むにつれ次々に現れる滝の位置と高さなどを手元の国土地理院の地形図にメモし、実体視撮影（立体的に見える）する。最も高さのある童洞ヶ滝は、地形図に記号と名称が記されるに相応しい格があると観た。国交省に対して記載してよと、会として要請したらどうだろう。載れば国が存在を認めたい形になる。日野川流域内には他にも、清滝、聖滝、間賀の滝、おおきりの滝など、素敵な滝がいくつも地形図に未記載のままにある。世に出してやりたいものだと思つた。

このたび
お世話になった

「里山元気塾」塾長 小谷 博徳さんからご感想をいただきました。

里山で究極の贅沢は「自然満喫と自給自足の生活体験」であると常々思っている。

大豆は味噌・豆腐に、蒟蒻芋はコンニャクに、そばはそば粥・手打ちそばと変えていた。それらの食材で昼食に挑戦していただいた。こんな手作りの昼食も、たまに食べると里山究極の贅沢と発信したい。

4年前より奥日野の「奥入瀬渓谷」を目指して「たたら街道」整備を継続。江戸時代より牛車で玉鋼や炭を運んでいた街道。それを包み込んでいる広葉樹の枝葉、これらが清らかな水や空気を生み、日野川を経て米子市に供給しているのです。

里山の荒廃は街の破滅につながる懸念を体感出来る「たたら街道」ツアーに、源流の会の皆様をお迎えしたことに大きな意義を感じる。里山を守ることは、街の皆さんとの理念の共有と共助・共働なくして語ることは出来ず、未来に向けて意義ある一日でありました。

紅葉の大宮路を訪ねる旅 H21. 10. 28



場所：日南町印賀 まなび宿大宮(旧大宮小学校)周辺

今回、源流イベントでは初めて日野川の支流である印賀川渓流周辺を訪れ、ゆく秋の寂しさを感じつつ小春日和の一日を堪能しました。

地元自治団体の「大宮まちづくり協議会」の協力を得て、リース作り、陶芸体験を行い、この地ならではの料理をいただきました。

午後は地元の方々が手入れされている「八幡山」や、古代神話の舞台として登場する「^{はちまん}聖滝」へのハイキング、国の有形文化財に登録されている「^{ひじりだき}古民家かつみや」の見学も行いました。



陶芸教室。たのし〜い。

日南町印賀に窯場を築いて三年。やっと設備が整いましたので今回初めて受け入れさせていただきました。希望に応じ、ゆとりのある体験も出来ますので再度挑戦してみてください。

陶芸家：杉原大路



南北朝時代、ここには出陣する武士達の想いが...

鳥取県指定文化財「印賀宝篋印塔」は小高い八幡山の頂上にあり、大宮まちづくり協議会や管理委員会で周辺を整備しています。



Xマス用リース。すてきでしょ！

「つくし工房」でのリース作り体験では、地元の花材を使って満足度100%の豪華なリースに仕上がります。体験は随時行っていますので、ご連絡くださいお待ちしております。代表：段塚英美 TEL:090-3744-8061



森の奥深くにある聖なる滝。20分程度の散策でした。

水量が多く夏場は涼しい。秋は紅葉を楽しめます。大きな岩も印象的です。



もみじも色づき、宮本さんのお話も絶好調！

「古民家かつみや」は宿泊もできます。近くにお越しの際には、縁側喫茶や散策など気軽にお立ち寄りください。代表：宮本克範 TEL 土日:0859-87-0304 平日:0859-26-3761



ほかほかの大宮の新米。

ドジョウ、イノシシなどなど。つつい食べ過ぎました。㊦



米子の奥座敷、日南町大宮地域によろこそ。「紅葉の大宮路を訪ねる旅」にご参加いただきありがとうございました。

大宮地域は、現在170世帯、約400名の方が住んでいます。平成18年度より校区単位でまちづくり協議会を設置しました。19年度より旧大宮小学校に事務局を置き活動拠点として様々な活動を行っています。

田舎の味として昼食をご用意しましたがお味は如何だったでしょうか。当日のメニューは近所のおばさんたち5名により、田舎ならではの味を楽しんでいただこうと話し合い、見栄えより食味が満足してもらおうと手作りしたところです。特に、寒冷地ならではのコシヒカリご飯・朝取り野菜の煮物・めったに食べられない猪肉のみそ焼き・養殖ドジョウ唐揚げ・等々頑張ったところですが満足度はいかほどであったかと気になるころでありましたが、ともあれ全員がおもてなしの心を込めての昼食でありました事を申し上げ大宮での良き思い出にさせていただければ幸いです。ご利用ありがとうございました。

(大宮まちづくり協議会より)

日野川流域憲章制定記念事業 H21. 8. 23

昨年の8月23日、日野川の清らかな水や流域の自然環境を守り、後世へと伝えていくための基本理念となる「日野川流域憲章」が制定されました。このたびは、この憲章制定を記念して、日吉津村内の関係団体で組織する「海岸クリーン作戦実行委員会」主催の「海岸クリーン作戦」に参加させていただき、海岸清掃ボランティアを行いました。

また、清掃の後は、日野川水系漁業協同組合様の協力を得て、海岸からほど近い西日本一の規模と言われる鮎しゅびょうの種苗生産場の見学をしました。

海岸清掃ボランティア



遠目からは綺麗に見えても、弁当ガラなどのかなりの量のゴミがありました。



当日は、約500名の方が清掃ボランティアに参加しました。

鮎しゅびょう種苗生産場の見学 (協力: 日野川水系漁業協同組合)



日野川水系漁業協同組合の佐藤組合長様のあいさつ。



施設に入る前には、必ず長靴を消毒。



鮎の魚群に興じる見学者達。参加者のほとんどが初めて訪れるということでした。



この施設から年間約350万尾を出荷するとのこと。

元気な森を再生させ隊

H21. 11. 14



今年も「ごうぎん希望の森 奥大山」で山陰合同銀行の方々と合同でイベントを行いました。午前中は源流の会員は2班に分かれて間伐作業の体験です。髪の毛の乱れを気にしながらヘルメットをかぶり、50年生のヒノキ林に向かいます。日野農林局の職員から間伐作業の必要性、調査の仕方、間伐木の選定方法等、かなり難しい話を聞いた後、実際の作業に入ります。山中で釣り竿を振り回すという奇妙な作業をまじめに行い、太さを測り、一本一本木の様子を見て、切る木に印をつけました。チェーンソーで切り倒された木の枝を払い、幹の切断を交代で行いました。



【成立本数の調査】

釣り竿(4m)で円を描いて、竿に当たる木の本数を調べる(50㎡当たり)



【木の太さの測定】

竿に当たった木の太さを胸の高さで測る。直径巻き尺を使用すると簡単。



【伐採本数の検討】

木の高さと本数から、森の混み具合を把握し、適切な混み具合にするために必要な伐採本数を決める。



【枝・幹の切断】

建築用材にするために不要な枝を切り落とし3~4mの長さに幹を切断する。



【伐採】

選定された木をチェーンソーで根元から切り倒す。思いどおりの方向に倒すのは非常に難しい。



【伐採木の選定】

曲がっている木、病気の木、貧弱な木、二股の木等を対象に、切り倒す木を選ぶ。

《会員の声》 間伐の具体的方法がわかった。チェーンソーが楽しかった 等々非常に好評。



おなじみの矢田貝先生



昼食のキノコ汁



真っ赤なナナカマドの実

午後は、江府町御機の木谷沢渓流の散策。意外に知られていない穴場的な所で、紅葉はやや過ぎた感じではあったが、多くの観光客で周辺は車、車、また車....。

渓流に係る橋付近には、多くのカメラマンが陣取り、苔むす石と紅葉と渓流の見事なコントラストを被写体としていた。

森と水に親しむ活動支援事業

日野川源流域の森や水の自然環境・生活文化について、将来の担い手となる子ども達を中心に、野外活動を通じて認識を深めてもらう事業で、今年度は4団体を支援しました。



蓼蚊屋少年野球クラブ



夏休み最後の土曜日8月22日(土)に、江府町鏡ヶ成周辺にて水工場見学と本谷川での川遊びを通じて、水の大切さやすばらしさを体感しました。

普段はボールを追ってグラウンドを駆け回る元気な子ども達ですが、森の中で鳥や昆虫、植物の話に耳を傾け、冷たい川に入ってきれいな水に触れたりして、豊かな自然の恵みについて学習した一日でした。

日野川水系漁業協同組合



7月12日(日)日南町河上の稲積山で、下草刈りを行いました。当地は、平成16年の台風で多くのスギが倒れる被害を受けたため、その被害跡地造林として広葉樹が植栽され、以後毎年日野川漁協の組合員さんを中心に下草刈りなどの作業が行われています。

今年も81人の方が参加され、大きく伸びた雑草を鎌や刈払機で刈り取る作業に気持ちよい汗をかきました。

プロジェクト山帰来



日南町「ゆきんこ村」から展望台へ向かう遊歩道や周辺の森林整備を毎年行っています。

昨年の雹被害を受けたマツムシソウの苗の植え替え作業、シイタケの植菌作業、遊歩道の草刈り作業、ベンチづくり等々、一年を通じて多くのボランティア作業の人たちが、毎月第1日曜日に県内外から集まって、楽しいひとときを過ごしています。

青少年健全育成 軟式野球リーグ親和会



5月4日「船通山に神話と鉄のロマンを訪ねよう」という呼びかけに69名(内中学生17人)が参加しました。

島根県奥出雲町を出発し、新緑あふれる溪流沿いの道を進み、伝説の「鳥上滝」を経由して山頂に向かいます。山頂では咲き誇るカタクリやヤマタノオロチ伝説等について勉強し、帰路は日南町上萩山自治会の方々の温かいサービスを受ける等、奥日野の初春を堪能しました。

事務局からのお知らせ

サントリー「森と水の学校」に参加しました!



7月25日(土)江府町鏡ヶ成周辺にて行われた、「森と水の学校」に参加しました。この「森と水の学校」は、こども達が水の大切さや森を守る事の大切さに気付き、未来に向けて自分から行動することを目的として昨年秋から開催されているものです。

当日は、ミネラルウォーター生産工場の見学や、軟水、硬水の飲み比べ、室内での環境学習などを行ったあと、サントリー「天然水の森 奥大山」と呼ばれる森の中に入り、自然解説を受けながら現地学習をしました。

参加者の皆さんは、普段なかなか入ることのできない奥深い森の雰囲気を感じていました。



室内での環境学習の様子



鳥の巣を発見。森の中ではいろんな発見があります。

編集後記

今年は8つのイベントを企画しましたが、どのイベントにもたくさんの方にご参加いただき、無事今年度の事業を終了することができました。参加者の皆様並びに関係者の方々には多大な御協力ををいただきました。この場を借りて心よりお礼申し上げます。

さて、今年度は「交流」をテーマに事業を実施してきたわけですが、そこには、主に下流域の方に里山の現状を知ってもらおうと同時に「里山ファン」になってもらいたいという思いがありました。

また、6月21日開催の「道後山山開きつつじ祭り」につきましては、参加希望者多数のため、参加をお断りした方もいました。抽選にもれた方はご迷惑をお掛けし申し訳ありませんでした。

事務局といたしましては、今後とも、源流を守る会の理念を実現すべく事業を展開していきたいと思っておりますので、今までとお変わりないご協力をお願いいたします。(や)